

水げん通信

水かおる早良区

“心地よい時間”の流れるまちづくり

第1号 2007年 夏号

福岡市議会議員(民主・市民クラブ)

玉井てるひろ後援会

〒814-0171 福岡市早良区野芥 3-26-7

TEL.092-405-3000 FAX.092-405-3001

E-mail: ttamai@ray.ocn.ne.jp

URL: http://www.comenu.com

福岡市議会議員

玉井輝大

四月の選挙では、皆様のおかげで当選させて頂きました。心より感謝申し上げます。初めての市議会代表質問では、「財政再建」を問いました。これからは、さらに深く探っていきます。今後とも皆様の「指導」の程、よろしくお願ひ申し上げます。



●「水げん通信」 Sources of New Streams (SONS; サンズ) スタートです。

一粒ひとつぶの水滴が「新しい流れ」の始まり、「水源」の素。二つ以上の水滴が集まり、地上に現れた所が水源 (Source of a Stream)。私たち一人ひとりが、社会づくりの流れの源の素。社会の元素です。新しく「永続性のある社会」づくりを目指す一人ひとりが集まり、美しい水の流れを持つ早良区野芥から「水げん通信」Sources of New Streams (SONS; サンズ) は始まります。私たちは福岡から世界へ向けて、「永続性のある社会」へ向かう「新しい流れ」を、しっかりとした水流として育てていきます。

「水げん通信」スタートに当たって、テーマを5つ考えます。それぞれのテーマは地域的な広がりに対して目標として定めたものです。

1) 野芥を中心とした身近な地域における「細やかなまちづくり」。2) 完結した美しい水の流れを持つ早良区における「水かおる早良区づくり」。3) 子育て日本一を目指す福岡市における「子ども(未来)のための社会づくり」、具体的には“からだ”、“しごと”、“みずべ”づくり。4) 私たちの属する日本社会の永続性実現のための「財政再建～公共体改善」、そして、5) 福岡から世界へ向けて発信する「文化理解による世界平和」の5つです。

「水げん通信」はこれから「永続性のある社会」の「流れ」をつくらうとする私たち一人ひとりの、思いを集めた通信です。どなたでも参加可能です。ご気軽にご投稿、ご意見ください。よろしくお願いいたします。

※編集・投稿にご参加ください。

●玉井てるひろ後援会よりお知らせです。

後援会 会員募集！！

玉井てるひろ後援会では、会員を随時募集しています。活動趣旨にご賛同いただける方は、後援会までご連絡下さい。

■年会費 1,000円

第1回「水辺・水路を歩こう会」参加者募集！！

後援会では、「水辺・水路を歩こう会」を下記のとおり開催します。ぜひご参加下さい。

- 日時 平成19年8月25日(土) ※雨天延期
- 目的地 野河内溪谷
- 集合場所 曲淵周辺(未定)
- 集合時間 午前10時
- 参加費 無料
- 持参品 水筒、弁当、タオルなど

※詳細は事務所へお問い合わせください。

3つのプロジェクト始動！

今回の「水げん通信」では、「地元野芥の細やかなまちづくり」のこと、次に、「早良区の水辺環境」、そして未来を担う「福岡市の子どもたち」のことなど、まず取り組みを開始した3つのプロジェクトを紹介いたします。

●後援会では、ボランティアさんを募集しています。下記のプロジェクトに関心のある方、また市民の声を伝えたい方は、一緒に活動しませんか？【担当：篠原】

1. 地域プロジェクト～「細やかなまちづくり」

目的 早良街道沿い(野芥口交差点を中心とした)の環境改善を図ります。

来年2月2日、福岡都市高速道路野芥ランプの完成に伴い、野芥周辺の交通量が大きく変わることが予測されています。また野芥は、「地域中心」として福岡市の主要計画で位置づけられています。どこにでもあるような画一的なまちづくりではなく、細やかなまちづくり、一歩進んだ野芥にふさわしい環境の形成をおこなっていきます。



2. 水プロジェクト～「美しい水の流れづくり」

目的 水辺(生態系)の維持、再生を図り、美しい水の流れをつくとともに、市民参加型の魅力ある水辺環境づくりをおこないます。



早良区には上流から下流まで完結する水の流れ(室見川水系)があり、私たちはその限りない恩恵にあずかっています。しかし市街化がすすみ、日常生活で水辺の存在を感じることは少なくなっています。子どもたちが安心して遊び自然を学ぶことができる水辺、私たちがいこえる水辺を増やしていきます。

- 「水辺・水路を歩こう会」を開催します。
- 第2回「みずからつくる環境を構想する会」を来年2月に開催します。

3. こどもプロジェクト～「こどもたちの夢を育む環境づくり」

目的 こどもの“想像力に始まる自由な行動”(遊び)のできる環境をつくります。

近年、こどもの問題(いじめ、自殺、不登校、虐待など)が日常化しています。塾、ゲーム、共働き、遊び場不足、生活環境での車の増加など、未来を担う子どもたちを取り巻く環境はどんどん窮屈になり続けています。「遊び」を中心に子どもたちの元気な「からだづくり」、子どもたちが夢みることが出来る「仕事づくり」をおこないます。

- 「こどもの夢を育む研究会」を発足します。
- 関連団体とのこどもプロジェクト共同事業体(コンソーシアム)を設立します。

